

このニュースを地域民報への転載や各支部への配布など、積極的に活用してください。

さっぽろ <総合交通調査特別委員会>
市議団ニュース

2020年10月4日

No. 222

日本共産党札幌市議団 事務局

tel 211-3221 / fax 218-5124

有害掘削土の受入候補地からの除外、説明会の開催を ——住民の陳情が自民、民主、公明の反対で不採択！

千葉なお子議員が質問

有害掘削土から手稲の水と安全・健康を守る会（金山地区）、手稲山口の新幹線工事要対策土から星置と周辺地域を守る会が提出した陳情3件が2日、総合交通政策調査特別委員会で審議され、日本共産党の千葉なお子議員が質問にたちました。

陳情は、新幹線札幌トンネル工事で発生するヒ素などの重金属を含む有害掘削土の受入候補地とされている手稲区金山地区と山口地区について、候補地からの除外や住民説明会を求めるもので、「会」の代表から「すぐ下流に宮町浄水場や小中学校、病院、老人ホームがあり予定地は土砂災害警戒区域にも指定されている」「大浜みやこカボチャやサッポロスイカというブランド農作物が栽培されており風評被害が心配」との訴えがありました。

子どもたちの通学路になっており健康被害が心配

山口地区の説明会の対象から外された星置地域の住民が、同地域での説明会の開催などを求める陳情について、千葉議員は、「転居して新しい家を建てたばかり、子どもたちの通学路にもなっており健康被害が心配」という訴えがだされているが、「どう感じているのか」と聞きました。

生野新幹線推進室長は、「ヒ素への不安は認識しているが自然由来のもの」「健康被害の可能性はかなり低い」「要請があれば（個別の）説明をしたい」とのべましたが、説明会の開催には言及しませんでした。2カ所では足りず選定基準を変更して山口地区を追加

千葉議員は、山口地区を加えたことについて、厚別山本地区と手稲金山地区が候補地とされた際、市有地では山本地区が唯一の適地（おおむね5万㎡以上で他の事業に使用していない）と昨年9月の同委員会で説明していたと指摘し、「選定基準を変更したのか」とただすと、生野室長は、「想定される対策土の全量の受入を考慮すると2カ所だけでは十分ではない」とのべ、面積要件などを緩和したとのべました。

千葉議員は、金山地区の説明会では、当初の対象地域を大きく拡大し、飲み水に不安を抱く宮町浄水場の給水地域にも広げたとのべ、山口地区は、対策土受入候補地から300～500mのところの小中学校や養護学校があり、星置地域から多くの子どもたちが通っているとして、「校区でもある星置地域は説明会の対象であるべき」とただしました。これに対し、生野室長は、「ほとんどの土が土壌含有量基準を上回っていない」が「粉じんの飛散が心配という声には丁寧に説明していきたい」とのべる一方、「説明会を行うことは考えていない」と背を向けました。

風評被害が心配——海からの強風で有害残土が

千葉議員は、「当然、説明会の対象とすべきだ」と強調するとともに、山口スイカなどのブランド作物への風評被害を心配する農家の声を紹介し、海からの強風による有害掘削土の飛散など、「風の影響についてどう考えているのか」とただしました。生野室長は、「ほとんどの土は含有量基準を下回っている」としつつ、運搬などの際は、法令や国のマニュアルにもとづき飛散防止の対策を講じるとのべました。

千葉議員は、「山口地区の説明会でも反対や不安の声が相次いだ」「住民合意のもとですすすめられているとは到底いえない」とのべ、事前調査の中止と説明会の開催を強く求めました。

山口地区の説明会の対象範囲について、小形議員が関連質問

関連して、小形議員が質問にたち、山口地区の説明会を、山口西と東町内会を対象にした理由をただしました。生野室長は、「山口処理場建設当時の協議経過を踏まえたもの」とのべましたが、小形議員は、

「影響があると考えたから行ったのではないか」「山口処理場建設は何年前の話しか」と質問。生野室長は、処理場の建設は「平成4年から5年頃」とのべましたが、「影響」についてはのべませんでした。そもそも山口西・東町内会だけを対象にする考え方が間違っている

小形議員は、説明が必要だと考えて山口西・東町内会で行ったのは自明だとのべ、同時に、その対象エリアについて、「東側は対策土受入地から2 kmくらい離れているが南側は500mくらいしかない。エリアの選定として不平等ではないか」と指摘。また、処理場建設は「20 数年も前の話で、星置地域にはその後、新たに住んだ住民が増えており、そもそも山口西・東町内会だけを対象にする考えが間違っていたのではないか」と強調しました。さらに、「海風が強く吹いてきたら、まさに星置地区に風が行く」「(健康被害について) あまり影響はないというが住民は不安になっており、それに応えることが求められているのではないか」とのべ、ただちに説明会を開くよう求めました。

調査の中止と住民説明会の開催を求める陳情が、自民、民主、公明の反対で不採択

調査の中止と住民説明会の開催を求める陳情には、共産党と市民ネットは賛成しましたが、「周辺環境に影響を及ぼさない対策が取られており、今回の説明会の対象範囲については理解できる」(自民)、「説明会については、周辺環境に影響を及ぼさないとの考えや山口処理場建設計画当時の地域との協議経過をふまえたもので理解できる」(民主)、「発生する対策土の性質や粉じんによる影響などを考慮すると今回の説明会の対象範囲の設定は理解できる」(公明)とのべ自民、民主、公明が反対し不採択となりました。

金山地区と山口地区を受入候補地から除外することを求める陳情は、それぞれ継続となりました。